

# 車輪脱落事故等調査票

## 事業者情報

1. 事業者情報	事業者名	
	営業所名	営業所
	代表者名	
	事業者住所	
	営業所住所	
	営業所配置車両数	両
	整備管理者氏名(兼職者は兼職内容、外部委託者はその旨を記載)	
	整備管理補助者選任の有無(有の場合は、氏名を記載)	無・有( )
2. 車両メンテナンスの状況	自社整備工場の保有	無(過去に保有していた・過去から保有なし) 有(特定整備認証有・特定整備認証無)
	①車両管理の担当者	【氏名、役職等】
	②車両管理の責任者	【氏名、役職等】
	③整備計画表の有無	整備計画表: 有・無
	④定期点検整備の実施状況等	<b>【3ヶ月点検】</b> ◆実施者: 自社・認証工場・その他( ) ※自社の場合は実施者氏名、役職:
		<b>【12ヶ月点検】</b> ◆実施者: 自社・認証工場・その他( ) ※自社の場合は実施者氏名、役職:
	⑤日常点検の実施状況等 ※ホイールナットの締付状態の点検について記載	◆実施者: 運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他( ) ※実施者が複数の場合は、複数選択可
		◆実施時期: 運行前・運行途中・帰庫時 ※複数選択可
		◆実施方法: マーキング確認・点検ハンマー・トルクレンチ・その他( )
		◆目視確認の導入: 有(マーキング確認・マーカ(インジケーター)装着)・無
⑥タイヤローテーションの実施状況等	◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用: 有・無	
	◆最終確認者名:	
	◆実施者: 運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他( ) ※実施者が複数の場合は、複数選択可。外注選択の場合は【3.】へ	
	◆使用工具: インパクト・トルクレンチ・その他( ) ※複数選択可	
	◆締め付けトルク: N・m・不明	
	◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有・無	
	◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有・無	
※有の場合は具体的な清掃方法: ワイヤブラシ・(その他: )		
◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布: 有・無		
◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有・無・不明		
※有の場合は潤滑剤の種類: メーカー指定品・指定品以外		
◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: 有・無		
◆タイヤローテーション頻度 年間 回実施( 月・ 月)		
⑦タイヤ交換の実施状況等	◆実施者: 運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他( ) ※実施者が複数の場合は、複数選択可。外注選択の場合は【3.】へ	
	◆使用工具: インパクト・トルクレンチ・その他( ) ※複数選択可	
	◆締め付けトルク: N・m・不明	
	◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有・無	
	◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有・無・不明	
	※有の場合は具体的な清掃方法: ワイヤブラシ・(その他: )	
	◆ホイールボルトのねじ部の潤滑材塗布: 有・無	
◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有・無・不明		
※有の場合は潤滑剤の種類: メーカー指定品・指定品以外		
◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: 有・無		
◆タイヤの交換頻度 年間 回交換(冬用タイヤ 月交換・夏用タイヤ 月交換)		

		<p>実施 ・ 緩みがあれば実施 ・ 未実施</p> <p>【実施の場合】</p> <p>◆実施時期： 交換後(            km・            日) で実施 ・ 帰庫時に実施 ※複数選択可</p> <p>◆実施者名： 運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他(            ) ※実施者が複数の場合は、複数選択可</p> <p>◆使用工具： インパクトレンチ ・ トルクレンチ ・ 車載工具 ・ その他(            )</p> <p>◆締め付けトルク：            N・m ・ 不明</p> <p>◆増し締め認知状況： 知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない ・ 不明</p> <p>◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理： 有 ・ 無</p>
	⑧増し締めの実施(50~100km走行後の増し締め)	
	⑨ホイールボルト、ホイールナットの交換頻度	<p>定めていない ・ 定めている(交換頻度            年毎) 直近の交換日(            年 月 日)</p> <p>外注先に任せている</p>
	⑩トルクレンチの保有状況等	<p>◆トルクレンチ保有： 有 ・ 無</p> <p>※有の場合は校正実施： 有(            年毎に実施) ・ 無</p> <p>※校正実施無の場合： 知らない ・ 知っているが実施してない</p>
3. 外注事業者における作業状況	①タイヤローテーション作業事業者	<p>◆実施事業者名：</p> <p>◆トルクレンチ保有： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>※有の場合は外注先の校正実施： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>◆使用工具： インパクトレンチ ・ トルクレンチ ・ その他(            )※複数選択可</p> <p>◆締め付けトルク：            N・m ・ 不明</p> <p>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>※有の場合は具体的な清掃方法： ワイヤブラシ ・ (その他：            )</p> <p>◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>※有の場合は潤滑剤の種類： メーカー指定品 ・ 指定品以外</p> <p>◆ホイールボルトやナットの交換基準： 有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし</p> <p>◆ホイールボルトやナットの交換状況： 必ず交換 ・ 交換を勧められる ・ 特になし</p> <p>◆増し締めに関するアドバイス： 受けている ・ 受けていない ・ 不明</p> <p>◆事業者からの作業報告： 有 ・ 無</p>
	②タイヤ交換作業事業者	<p>◆実施事業者名：</p> <p>◆トルクレンチ保有 { 有 ・ 無 ・ 不明 }</p> <p>※有の場合は外注先の校正実施 { 有 ・ 無 ・ 不明 }</p> <p>◆使用工具： インパクト・トルクレンチ・その他(            )※複数選択可</p> <p>◆締め付けトルク：            N・m ・ 不明</p> <p>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>※有の場合は具体的な方法： ワイヤブラシ ・ (その他：            )</p> <p>◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>◆ナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布： 有 ・ 無 ・ 不明</p> <p>※有の場合は潤滑剤の種類： メーカー指定品 ・ 指定品以外</p> <p>◆ホイールボルトやナットの交換基準： 有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし</p> <p>◆ホイールボルトやナットの交換状況： 必ず交換 ・ 交換を勧められる ・ 特になし</p> <p>◆増し締めに関するアドバイス： 受けている ・ 受けていない ・ 不明</p> <p>◆事業者からの作業報告： 有 ・ 無</p>
4. タイヤ交換等における整備管理者の関与	①交換作業	作業立ち会い・作業報告で確認・関与していない・その他(            )
	②増し締め作業	作業立ち会い・作業報告で確認・関与していない・その他(            )
	③外注作業	作業報告書を確認 ・ 関与していない ・ その他(            )
5. 脱輪事故防止に関する社内教育の状況	①脱輪事故防止のための4つのルールを知っていたか。	聞いており、内容も知っている ・ 聞いたことはあるが、内容は知らない ・ 聞いたこともないし、内容も知らない
	②上記のルールは社内で誰が知っているか。(複数選択可)	役員 ・ 整備管理者 ・ タイヤ交換者 ・ 運転者 その他(            )
	③国土交通省から通知している脱輪防止対策の社内周知方法	周知していない ・ 掲示、回覧で周知 ・ 定例会議等で周知 その他方法(            )
	④脱輪事故防止対策の実行状況の把握方法	把握していない ・ 作業、運転者から報告させている ・ 整備管理者が確認している ・ その他方法(            )

# 事故情報

6. 事故発生年月日	令和 年 月 日 時 分頃 ・ 当日の天候:		
7. 事故発生場所	一般道路(名称: ) ・ 高速道路又は自動車道(名称: )		
8. 事故車両概要	登録番号		
	車名		
	通称名		
	当日の積載物品名		
	総走行距離	km	
	脱輪箇所	右側 ・ 左側	
		前輪(二軸の場合: 前々 ・ 前後) ・ 後輪(二軸の場合: 後前 ・ 後中 ・ 後々)	
	脱輪本数	1本(複輪の場合: 外輪・内輪) ・ 2本	
	脱輪の主な原因	ナットの緩み ・ ボルトの折損	
		事故現場からのナットの回収状況( 個回収 ・ 見つからなかった ・ 不明 )	
	脱輪車輪以外の車輪のナットの緩みの有無	有 ・ 無	
		※有の場合の緩みの箇所	箇所 ( 輪 ・ 輪 ・ 輪 )
		※緩んでいる車輪の締め付けトルク値	輪 N・m
※緩んでいる車輪の締め付けトルク値		輪 N・m	
ホイールの種類	アルミホイール ・ スチールホイール		
ホイールボルト・ナット方式	JIS方式 { 6穴 ・ 8穴 、 アルミ用 ・ スチール用 }		
	ISO / 新ISO方式 { 8穴 ・ 10穴 、 アルミ用 ・ スチール用 }		
履き替え等からの走行距離	km ・ 不明		
9. 事故概要	【概要】		
	【事故当日の運行経路】		
	【運転者の口述概要】		
	【車輪脱着作業実施者等の口述概要】		
	【損害の程度】 有 (死亡 人 ・ 重傷 人 ・ 軽傷 人) ・ 物損 無		
10. 車両見分等概要	[ ]実施	令和 年 月 日	
	概要		
11. 車両、部品等の調査結果(車両見分等実施の場合は【10.】に記載)			

12. 事故直近の 車両点検、整備 状況	[ ]か月点検	●令和 年 月 日実施 ●実施者名:
	臨時整備	●令和 年 月 日実施 ●実施者名:
13. 事故直近の 車輪(タイヤ、ホ イール)整備状況	車輪脱着作業の状況	◆直近の車輪脱着日:令和 年 月 日 ◆作業内容: ◆実施者:運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他( ) ※実施者が複数の場合は、複数選択可 ◆使用工具:インパクト・トルクレンチ・その他( ) ◆締め付けトルク: N・m ・ 不明 ◆ホイールボルト・ナットの汚れの状況: 有 ・ 少し有 ・ 無 ・ 不明 ◆ホイールボルト・ナットの錆の状況: 有 ・ 少し有 ・ 無 ・ 不明 ◆作業時のホイールナットの回り具合: スムーズ ・ 少し引っかかり有 ・ 不明 ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: 有 ・ 無 ・ 不明 ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: 有 ・ 無 ・ 不明 ※有の場合は具体的な清掃方法: ワイヤブラシ ・ (その他: ) ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: 有 ・ 無 ・ 不明 ※有の場合は潤滑剤の種類: メーカー指定品 ・ 指定品以外 ◆事故防止通達に基づく作業管理表(外注は作業報告)の記録・管理: 有 ・ 無
	直近のホイールボルト・ホ イールナット交換の有無	有(交換時期 年 月) ・ 無 ・ 不明 ※ホイールボルトやナットの交換基準: 有 ・ 必要に応じて交換 ・ 特になし
	事故当日の日常点検の実 施状況等 ※ホイールナットの締め付 状態の点検について記載	◆実施者:運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他( ) ※実施者が複数の場合は、複数選択可 ◆実施時期:運行前 ・ 運行途中 ・ 帰庫時 ※複数選択可 ◆実施方法:マーキング確認・点検ハンマー・トルクレンチ・その他( ) ◆目視確認の導入: 有 (マーキング確認 ・ マーカー(インジケーター)装着) ・ 無 ◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用: 有 ・ 無
	増し締めの実施(50~100km 走行後の増し締め)	実施 ・ 未実施 【実施の場合】 ◆実施時期: 交換後( km ・ 日 ) で実施 ◆実施者名:運転者・整備管理者・整備担当者・外注・その他( ) ※実施者が複数の場合は、複数選択可 ◆使用工具:インパクト・トルクレンチ・車載工具・その他( ) ◆締め付けトルク: N・m ・ 不明 ◆増し締めの認知状況: 知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない ・ 不明 ◆事故防止通達に基づく作業管理表の記録・管理: 有 ・ 無
14. 補足事項等 (『「2. ⑤~⑧」「3. 」で実施することになっている が、今回実施を失念した理由』等を記載)		
15. 事業者による 原因調査の実 施状況	実施 ・ 未実施 ◆実施の場合は実施状況	
16. 推定原因		
17. 再発防止策		

※本調査は、車輪脱落事故防止対策への基礎資料とするために行っております。本調査のみをもって処分等を行うものではありませんので、**ありのままの実態を記入してください。**その上で、同事故防止対策についての意見・要望がありましたら17の欄に記入をお願いします。